

810.7-Ko51ウ

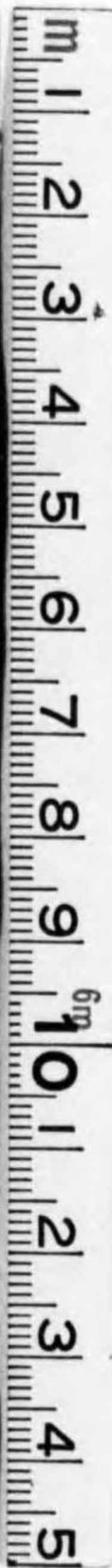


1200500753242

810.7
251

日本のことば

国際文化振興會編
上



始



96
10

日本のことば

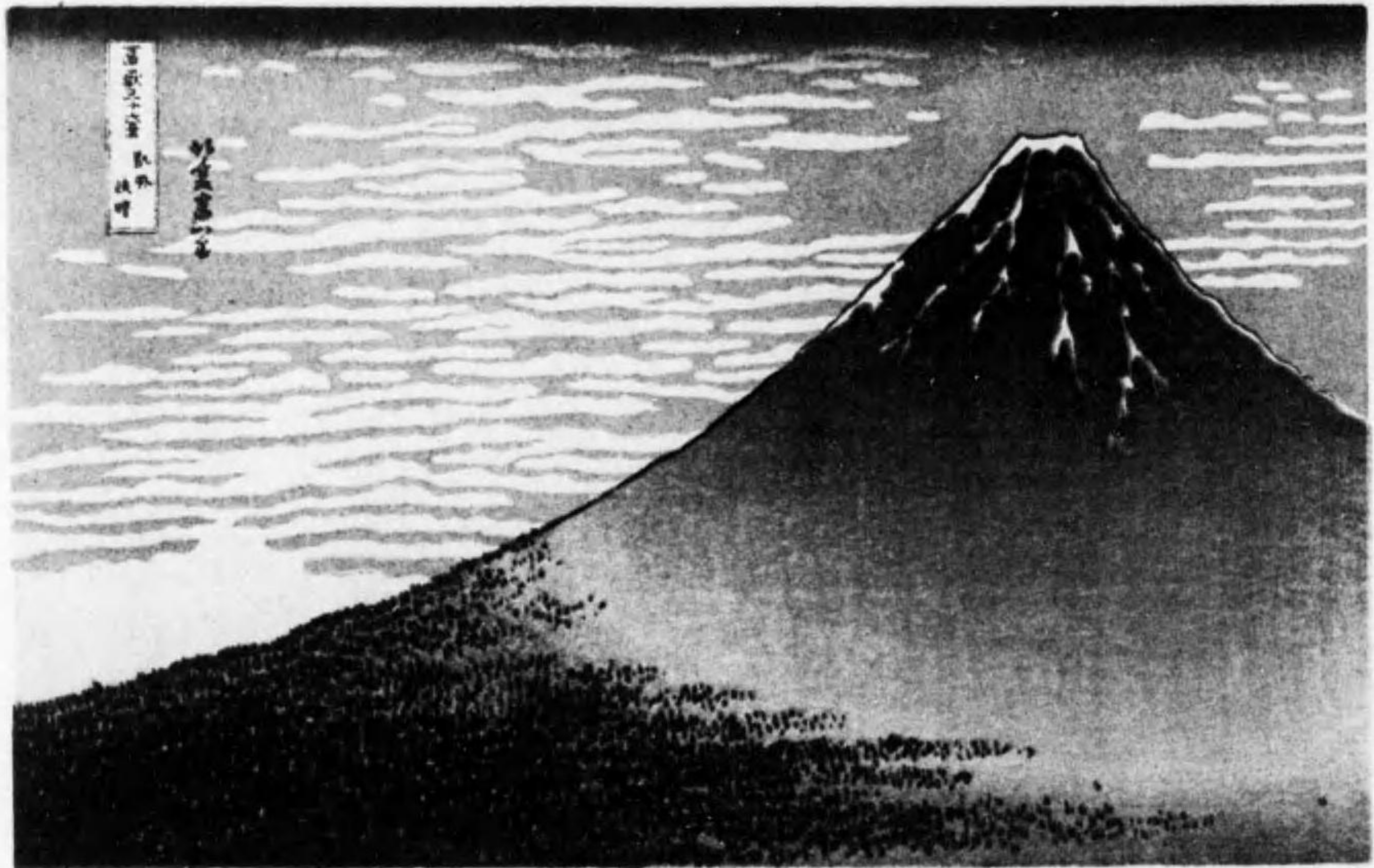
810.7
K0.51



本
の
こ
と
ば
上

國
際
文
化
振
興
會





あの美しい富士山を、どうあらはさうか。
 あの神神しい富士山を、どうあらはさうか。
 今、ここで、版畫であらはしてみた。
 青空と、山の地肌と、残雪の光と、
 横に幾筋もたなびいた雲の線と、
 両方からもりあがった山の線と、
 山裾のひろがり、山頂の結晶と、
 みんなが、やっきとなつて、
 あの美しい富士山を、あらはさうとしてゐる。
 あの神神しい富士山を、あらはさうとしてゐる。





風が吹いてゐます。
はげしく吹いてゐます。

細い木は、折れるやうにゆれ、
太い木も、やっと立ってゐるやうに、
枝をみんな曲げながら
岩にしがみついてゐます。

岩だけが、どっしりと動きません。
帆かけ舟が、矢のやうに走ってゐます。
宙を斜めに飛んで来るやうに。

船の「動」と、岩の「静」とを、
整へ和げるやうに、波がゆれてゐます。



ニッポン
ほん

本

一

朝日がのぼる。
ぐんぐんのぼる。

三

風がふく。
そよそよふく。

鳥がなく。
ぴよぴよなく。



「おはやう。」
「おはやう。」
「おはやう。」
「おはやう。」

二

330
101

四

「こんにちは。」

「こんにちは。」

「こんにちは。」

「こんにちは。」

「こんにちは。」

「こんにちは。」

五

さかなをとる人。

牛の乳をしぼる人。

種をまく人。

花をそだてる人。

舟をこぐ人。

家をつくる人。

汽車を走らせる人。

みんなはたらく。

せつせとはたらく。

「こんばんは。」

「こんばんは。」

「こんばんは。」

「こんばんは。」

「こんばんは。」

「こんばんは。」

星が光る。

きらきら光る。

波の音がきこえる。

ざぶんざぶんときこえる。

みんなねむる。

すやすやねむる。

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

たす

ひく

かける

わる

十の二ばいは、二十。

十の五ばいは、五十。

十の十ばいは、百。

百の二ばいは、二百。

百の五ばいは、五百。

百の十ばいは、千。

二千、五千、一萬。

一萬の一萬ばいは、一億。

一億一心。

二千六百。

二千六百年。

ああ、

きげん 二千六百年。

+

やしのみは、

一つ 二つ 三つ 四つ 五つ 六つ
七つ 八つ 九つ 十。

えんぴつは、

一ぽん 二ほん 三ぼん 四ほん 五ほん
六ぽん 七ほん 八ほん 九ほん 十ぽん。

鳥は、

一は 二は 三ば 四は 五は 六ば
七は 八は 九は 十ば。

さかなは、

一ぴき 二ひき 三びき 四ひき 五ひき
六びき 七ひき 八びき 九ひき 十ひき

舟は、一さう 二さう 三さう 四さう 五さう。

本は、一さつ 二さつ 三さつ 四さつ 五さつ。

人は、ひとり ふたり さんにん よにん ごにん。

おかねは、

一せん 二せん 三せん 四せん 五せん 六せん
七せん 八せん 九せん 十せん

一せんの 十ばいは、 十せん。

十せんの 十ばいは、 一ゑん。

一ゑんの 千ばいは、 千ゑん。

ちりも つもれば、

山となる。

白い花
白い花
白い花
白い花
白い花
赤い花
白い花
白い花
白い花

飛ぶ

飛ぶ

飛ぶ

鳥が飛ぶ

青い空を飛ぶ

青い空 十三 飛ぶ

泳ぐ、

泳ぐ、

泳ぐ。

さかなが泳ぐ。

川を泳ぐ。十二

十四

走る、

走る、

走る。

馬が走る。草原を走る。

十五

十五

「太陽」といふことばから、じゅんじゅんに
思ひだすことばを書いてみました。

一郎さんの書いたことば。

太陽↓月↓星↓雲↓

↓風↓雨↓東↓西↓

↓南↓北↓山↓川↓

↓水↓火↓土↓

進さんの書いたことば。

太陽↓虹↓赤↓黄色↓緑↓青↓

↓圓↓四角↓三角↓長い↓短い↓ふとい↓

↓細い↓大きい↓小さい↓

園子さんの書いたことば。

太陽↓光↓鏡↓人形↓子もりうた↓おかあさん↓

↓おとうさん↓ねえさん↓にいさん↓弟↓妹↓猫↓

↓小鳥↓笛↓をどり↓夢↓

みどりさんの書いたことば。

太陽↓花↓蝶↓羽↓飛ぶ↓落ちる↓

↓浮かぶ↓ごむまり↓風船↓空↓地球↓

↓太陽

はじめは、同じことばでも、書く人によって、
ちがったことばが、いくらでも出てくる。
いくらでも出てくる。

十六

「もし、あなたが、何にでもなることができる
としたら、何になりたいと思ひますか。」

一郎さん、あなたは。」

「ぼくは、風になりたいと思ひます。」

「なぜ、風になりたいのですか。」

「世界中を吹きまはってみたいのです。」

「園子さんは。」

「わたくしは、星になってみたいと思ひます。」

「なぜ、星になりたいのですか。」

「あんなにきれいに光ってみたいのです。」

「進さんは。」

「ぼくは、大きな山になってみたいな。」

「なぜですか。」

「高く立って、遠いところが見たいのです。」

「みどりさんは。」

「小鳥になります。」

「なぜ。」

「子どもの枕もとで、歌をうたってあげ

たいのです。」

目で見る。

繪を見る。

寫真を見る。

映畫を見る。

耳できく。

話をきく。

歌をきく。

ラジオをきく。

十九

口でたべる。

口で話す。

鼻でかく。

花のほびをかぐ。

二十

目は二つ、耳も二つ。

口は一つ、鼻も一つ。

みんな同じ顔だが、

みんなちがった顔。

笑ったり、泣いたり、

怒ったり、悲しんだり。

明かるい顔に、暗い顔。

手
取る
にぎる
つかむ

持つ
取る
にぎる
つかむ

足
引く
書く
走る
飛ぶ

立つ
ふむ
歩く
走る
飛ぶ

はねる
ける

五本のゆび

おやゆび

人さしゆび

なかゆび

くすりゆび

こゆび

この手で、何をつかんだでせう。
この足で、どこへ行ったでせう。

二十三

ことばは、耳で聞くことができる。
しかし、重さはない。
色もない、にほひもない。

手でつかむことはできない。
すぐ消えてしまふ。

二十二

それでも、

人の心を喜ばせるものは、ことばだ。
人の心を悲しませるものも、ことばだ。

いつまでも心にのこるものは、
やはりことばだ。

太郎が、兄といっしょに山にのぼる。

太郎「にいさん、ここはずるぶん高いね。」

兄「よく元氣を出してのぼったな。」

太郎「ばんざーい。ばんざーい。」

こだま「ばんざーい。ばんざーい。」

太郎「おや、だれだらう。ひとのまねなんかして。

だれだーい。」

こだま「だれだーい。」

太郎「ぼくかーい、太郎だよー。」

こだま「ぼくかーい、太郎だよー。」

太郎「ぼくが、太郎なんだよー。」

こだま「ぼくが、太郎なんだよー。」

太郎「うそをつくなー。」

こだま「うそをつくなー。」

太郎「ばか。」

こだま「ばか。」

兄 「太郎、なぜ、そんな口ぎたないことを
いふのだ。」

太郎 「だって、だれかが、ばかにするんだもの。」

兄 「おまへが、口ぎたなくいふから、あちらの
人も、さういふのだ。おまへの方で、
いいことをいへば、向かふだって、いいこと
をいふさ。」

太郎 「さうかしら、いってみようか。」

兄 「いってごらん。」

太郎 「ごめんね。」

こだま 「ごめんね。」

太郎 「ぼくがわるかった。」

こだま 「ぼくがわるかった。」

兄 「ほうれ。ちゃんと向かふでもあやまる
だらう。」

太郎 「にいさんのいふとほりだね。」

兄 「さ、またのぼらう。」

太郎 「ようし、のぼりませう。」

二人が、また山をのぼって行く。

太郎が乳を飲む。

太郎が眠る。

太郎が起きる。

太郎が泣く。

太郎が笑ふ。

太郎が立つ。

太郎が歩く。

太郎が走る。

太郎が木にのぼる。

太郎が泳ぐ。

太郎が歌を歌ふ。

太郎が絵をかく。

太郎が本を読む。

だんだん太郎も大きくなっていく。

二十六

日本の國は小さい。
國は小さいが、
日本の願ひは大きい。

世界の人たちを
幸福にしようと願つてゐる。

二十七

燕は遠く飛ぶ。
日本から、
南へ飛ぶ。
南から
日本へ飛ぶ。

海は流れてゐる。
大きく大きく流れてゐる。
南から
日本へ流れて来る。

日本の海に手をひたす。

この海が、

フィリピンの岸を洗ひ、

ジャワの岸を洗ひ、

スマトラ、マライの岸を洗ひ、

遠く濠洲の岸を洗ふ。

島と島

國と國

海で、つながれ、

海で、結ばれてゐる。

日本の海に手をひたす。

二十九

春

三月はひな祭。

四月はさくら。

五月は鯉のぼり。

夏

六月はつゆ。

七月は星まつり。

八月は蟬。

秋

九月はお月見。

十月は雁。

十一月は菊の花。

冬

十二月は餅つき。

一月は初日の出。

二月は梅の花。

あなたには、おとうさんが、おありですね。
おとうさんのおとうさんは、おいでですか。
おとうさんのおとうさんの、そのまたおとうさんは、
おいでですか。

おいでにはならないでせう。
けれども、おいでになったはずですね。

そのまた、おとうさんも、
そのまた、おとうさんも、
たしかに、おいでになったはずですね。

あなたには、おかあさんが、おありですね。

おかあさんのおかあさんは、おいでですか。

おかあさんのおかあさんの、そのまたおかあさんは、
おいでですか。

おいでには、ならないでせう。

けれどもおいでになったはずですね。

そのまたおかあさんも、

そのまたおかあさんも、

たしかに、おいでになったはずですね。

あなたは、

遠い遠い昔へ、

つながってゐるわけです。

古い着物を今脱がうとしてゐます。
古びた、よごれた、着物を脱がうとしてゐます。
からだにあはなくなった着物を脱がうとして
ゐます。

さうして、
さっぱりとした着物を着ようとしてゐます。

明かるい感じの着物で、
幸福の模様をついた着物、
からだによくあった新しい着物。

世界は今、
古い着物を脱がうとしてゐます。
新しい着物を着ようとしてゐます。

アノウツク(美)シーフジサン(富士山)オ、ドーアラワソーカ。
アノコーゴ(神神)シーフジサン(富士山)オ、ドーアラワソーカ。
イマ(今)、ココデ、ハンガ(版畫)デアラワシテミタ。
アオゾラ(青空)ト、ヤマ(山)ノジハダ(地肌)ト、ザンセツ(残雪)ノヒカリ(光)ト、
ヨコ(横)ニイクスジ(幾筋)モタナビータクモ(雲)ノセン(線)ト、
リョーホー(兩方)カラモリアガッタヤマ(山)ノセン(線)ト、
ヤマスソ(山裾)ノヒロガリト、サンチョー(山頂)ノケツショ(結晶)ト、
ミンナガ、ヤッキトナツテ、
アノウツク(美)シーフジサン(富士山)オ、アラワソートシテイル。
アノコーゴ(神神)シーフジサン(富士山)オ、アラワソートシテイル。

カゼ(風)ガフ(吹)イテイマス。
ハゲシクフ(吹)イテイマス。

ホソ(細)イキ(木)ワ、オ(折)レルヨーニユレ、
フト(太)イキ(木)モ、ヤットタ(立)ッテイルヨーニ、
エダ(枝)オミンナマ(曲)ゲナガラ
イワ(岩)ニシガミツイテイマス。

イワ(岩)ダケガドッシリトウゴ(動)キマセン。
ホカケブネ(帆カケ舟)ガ、ヤ(矢)ノヨーニハシ(走)ッテイマス。
チュー(宙)オナナ(斜)メニト(飛)ンデク(来)ルヨーニ。
フネ(舟)ノ「ドー」(動)ト、イワ(岩)ノ「セー」(静)トオ、
トトノ(整)エヤワラ(和)ゲルヨーニ、ナミ(波)ガユレテイマス。

一

ニッポン
ニッポン
ニッポン

二

「オハヨー」
「オハヨー」

三

アサヒ(朝日)ガノボル。
ダングンノボル。
カゼ(風)ガフク。
ソヨソヨフク。
トリ(鳥)ガナク。
ピヨピヨナク。

四

「コンニチワ」
「コンニチワ」

五

サカナオトルヒト(人)。
ウシ(牛)ノチチ(乳)オシボルヒト(人)。
タネ(種)オマクヒト(人)。
ハナ(花)オソダテルヒト(人)。
フネ(舟)オコグヒト(人)。
イエ(家)オツクルヒト(人)。
キシヤ(汽車)オハシ(走)ラセルヒト(人)。
ミンナハタラク。
セッセトハタラク。

六
「コンバンワ。」
「コンバンワ。」

七
ホシ(星)ガヒカ(光)ル。
キラキラヒカ(光)ル。
ナミ(波)ノオト(音)ガキコエル。
ザブンザブントキコエル。
ミンナネムル。
スヤスヤネムル。

八
イチ(一)ニ(二)サン(三)シ(四)ゴ(五)
ロク(六)シチ(七)ハチ(八)ク(九)ジュ
ー(十)。
タス

ヒク
カケル
ワル

ジュー(十)ノニ(二)バイワ、ニジュ
ー(二十)。
ジュー(十)ノゴ(五)バイワ、ゴジュ
ー(五十)。
ジュー(十)ノジュー(十)バイワ、ヒヤク
(百)。
ヒヤク(百)ノニ(二)バイワ、ニヒヤク
(二百)。
ヒヤク(百)ノゴ(五)バイワ、ゴヒヤク
(五百)。
ヒヤク(百)ノジュー(十)バイワ、セン
(千)。
ニセン(二千)、ゴセン(五千)、イチマン
(一萬)。

イチマン(一萬)ノイチマン(一萬)バイ
ワ、イチオク(一億)。

九

イチオク(一億)イッシン(一心)。
ニセンロツピヤク(二千六百)。
ニセンロツピヤクネン(二千六百年)。
ア、
キゲンニセンロツピヤクネン(二千六
百年)。

十

ヤシノミワ、
ヒトツ(一ツ)フタツ(二ツ)ミツツ(三
ツ)ヨツツ(四ツ)イツツ(五ツ)ムツ
ツ(六ツ)ナナツ(七ツ)ヤツツ(八ツ)
ココノツ(九ツ)ト(十)。

エンピツワ、

イッ(一)ボンニ(二)ホンサン(三)ボ
ンシ(四)ホンゴ(五)ホンロツ(六)ボ
ンシチ(七)ホンハチ(八)ホンク(九)
ホンジツ(十)ボン。

トリ(鳥)ワ、

イチ(一)ワニ(二)ワサン(三)バシ(四)
ワゴ(五)ワロツ(六)パシチ(七)ワ
ハチ(八)ワク(九)ワジツ(十)パ。

サカナワ、

イッ(一)ピキニ(二)ヒキサン(三)ピキ
シ(四)ヒキゴ(五)ヒキロツ(六)ピキ
シチ(七)ヒキハツ(八)ピキク(九)ヒ
キジツ(十)ピキ。

フネ(舟)ワ、イッ(一)ソーニ(二)ソー
サン(三)ゾーシ(四)ソーゴ(五)ソー。

ホン(本)ワ、イッ(一)サツニ(二)サツ
サン(三)サツシ(四)サツゴ(五)サツ
ヒト(人)ワ、ヒトリフタリサンニン
ヨニンゴニン。

オカネワ、

イッ(一)センニ(二)センサン(三)セン
ヨン(四)センゴ(五)センロク(六)セ
ンシチ(七)センハツ(八)センキュー
(九)センジツ(十)セン。

イッ(一)センノジュー(十)バイワ、

ジッ(十)セン。

ジッ(十)センノジュー(十)バイワ、

イチ(一)エン。

イチ(一)エンノセン(千)バイワ、

セン(千)エン。

チリモツモレバ、
ヤマ(山)トナル。

十一

シロ(白)イハナ(花)
シロ(白)イハナ(花)
シロ(白)イハナ(花)

アカ(赤)イハナ(花)

シロ(白)イハナ(花)

十二

ト(飛)ブ、

ト(飛)ブ、

ト(飛)ブ。

トリ(鳥)ガト(飛)ブ。

アオ(青)イソラ(空)オト(飛)ブ。

十三

オヨ(泳)グ、

オヨ(泳)グ、

オヨ(泳)グ。

サカナガオヨ(泳)グ。

カワ(川)オオヨ(泳)グ。

十四

ハシ(走)ル、

ハシ(走)ル、

ハシ(走)ル。

ウマ(馬)ガハシ(走)ル。

クサハラ(草原)オハシ(走)ル。

十五

「タイヨ」(太陽)トユコトバカラ、

十一

シロ(白)イハナ(花)
シロ(白)イハナ(花)
シロ(白)イハナ(花)

アカ(赤)イハナ(花)

シロ(白)イハナ(花)

十二

ト(飛)ブ、

ト(飛)ブ、

ト(飛)ブ。

トリ(鳥)ガト(飛)ブ。

アオ(青)イソラ(空)オト(飛)ブ。

ジニンジニンニオモ(思)イダスコト
バオカ(書)イテミマシタ。

イチロー(一郎)サンノカ(書)イタコ

トバ。タイヨ(太陽)↓ツキ(月)↓ホ

シ(星)↓クモ(雲)↓カゼ(風)↓アメ

(雨)↓ヒガシ(東)↓ニシ(西)↓ミナミ

(南)↓キタ(北)↓ヤマ(山)↓カワ(川)

↓ミズ(水)↓ヒ(火)↓ツチ(土)↓

ススム(進)サンノカ(書)イタコトバ。

タイヨ(太陽)↓ニジ(虹)↓アカ(赤)

↓キーロ(黄色)↓ミドリ(緑)↓アオ

(青)↓マル(圓)↓シカク(四角)↓サン

カク(三角)↓ナガ(長)イ↓ミジカ(短)

イ↓フトイ↓ホソ(細)イ↓オ(大)

キ↓チ(小)サイ↓

ソノコ(園子)サンノカ(書)イタコトバ。

タイヨ一(太陽) ↓ヒカリ(光) ↓カガ
 ミ(鏡) ↓ニンギョ一(人形) ↓コ(子) モ
 リウタ ↓オカーサン ↓オト一サン ↓
 ネ一サン ↓ニ一サン ↓オト一ト(弟)
 ↓イモ一ト(妹) ↓ネコ(猫) ↓コトリ
 (小鳥) ↓フエ(笛) ↓オドリ ↓ユメ(夢) ↓
 ミドリサン ノカ(書) イタコトバ。
 タイヨ一(太陽) ↓ハナ(花) ↓チョ一
 (蝶) ↓ハネ(羽) ↓ト(飛) ↓オ(落) チ
 ル ↓ウ(浮) カブ ↓ゴムマリ ↓フーセ
 ン(風船) ↓ソラ(空) ↓チキュー(地球)
 ↓タイヨ一(太陽)

ハジメワ、オナ(同) ジコトバデモ、カ
 (書) クヒト(人) ニヨツテ、チガッタコ
 トバガ、イクラデモデ(出) テクル。
 イクラデモデ(出) テクル。

十六

「モシ、アナタガ、ナニ(何) ニデモナ
 ルコトガデキルトシタラ、ナニ(何)
 ニナリタイトオモ(思) イマスカ。
 イチロー(一郎) サン、アナタワ。」
 「ボクワ、カゼ(風) ニナリタイトオ
 モ(思) イマス。」
 「ナゼ、カゼ(風) ニナリタイノデス
 カ。」
 「セカイジュ一(世界中) オフ(吹) キマ
 ワツテミタイノデス。」
 「ソノコ(園子) サンワ。」
 「ワタクシワ、ホシ(星) ニナツテミタ
 イトオモ(思) イマス。」
 「ナゼ、ホシ(星) ニナリタイノデス
 カ。」
 「アンナニキレ一ニヒカ(光) ッテミ
 タイノデス。」

十八

ミミ(耳) デキク。
 ハナシ(話) オキク。
 ウタ(歌) オキク。
 ラジオオキク。

十九

クチ(口) デタベル。
 クチ(口) デハナ(話) ス。
 ハナ(鼻) デカグ。
 ハナ(花) ノニオイオカグ。

二十

メ(目) ワフタツ(ニツ)、ミミ(耳) モフ
 タツ(ニツ)。
 クチ(口) ワヒトツ(一ツ)、ハナ(鼻) モ

「ススム(進) サンワ。」

「ボクワ、オ一(大) キナヤマ(山) ニナ
 ッテミタイナ。」

「ナゼデスカ。」

「タカ(高) クタ(立) ッテ、ト一(遠) イト
 コロガミ(見) タイノデス。」

「ミドリサンワ。」

「コトリ(小鳥) ニナリマス。」

「ナゼ。」

「コ(子) ドモノマクラ(枕) モトデ、ウ
 タ(歌) オウタツテアゲタイノデス。」

十七

メ(目) デミ(見) ル。

エ(繪) オミ(見) ル。

シャシン(寫真) オミ(見) ル。

エーガ(映畫) オミ(見) ル。

ヒトツ(一ツ)。

ミンナオナ(同)ジカオ(顔)ダガ、
ミンナチガッタカオ(顔)。

ワラ(笑)ツタリ、ナ(泣)イタリ、
オコ(怒)ツタリ、カナ(悲)シンダリ。

ア(明)カルイカオ(顔)ニ、クラ(暗)イ
カオ(顔)。

二十一

テ(手)

モ(持)ツト(取)ルニギルツカム
ナ(投)ゲルヒ(引)クカ(書)ク

アシ(足)

タ(立)ツフムアル(歩)クハシ(走)ル
ト(飛)ブ
ハネルケル

二十二

ゴ(五)ホンノユビ
オヤユビ

ヒト(人)サシユビ
ナカユビ

クスリユビ
コユビ

コノテ(手)デ、ナニ(何)オツカンダ
デシヨ。

コノアシ(足)デ、ドコエイ(行)ッタ
デシヨ。

二十三

コトバワ、ミミ(耳)デキ(聞)クコト
ガデキル。

シカシ、オモ(重)サワナイ。

イロ(色)モナイ、ニオイモナイ。

テ(手)デツカムコトワデキナイ。

スダキ(消)エテシマウ。

ソレデモ、

ヒト(人)ノココロ(心)オヨロコ(喜)バ
セルモノワ、コトバダ。

ヒト(人)ノココロ(心)オカナ(悲)シ
マセルモノモ、コトバダ。

イツマデモココロ(心)ニノコルモ
ノワ、

ヤハリコトバダ。

二十四

タロー(太郎)ガアニ(兄)トイッショ
ニヤマ(山)ニノボル。

タロー(太郎)「ニーサン、ココワズイブ
ンタカ(高)イネ。」

アニ(兄)「ヨクゲンキ(元氣)オダ(出)シ

テノボッタナ。」

タロー(太郎)「バンザーイ。バンザーイ。」

コダマ「バンザーイ。バンザーイ。」

タロー(太郎)「オヤ、ダレダロー。ヒト

ノマネナンカシテ。

ダレダロー。」

コダマ「ダレダロー。」

タロー(太郎)「ボクカーイ、タロー(太郎)ナン

ダヨ。」

コダマ「ボクカーイ、タロー(太郎)ダヨ

。」

タロー(太郎)「ボクガ、タロー(太郎)ナン

ダヨ。」

コダマ「ボクガ、タロー(太郎)ナンダヨ

。」

タロー(太郎)「ウソオツクナ。」

コダマ「ウソオツクナ。」

タロー(太郎)「バカ。」

コダマ「ボクガワルカッタ。」

アニ(兄)「タロー(太郎)、ナゼ、ソクナクチ

アニ(兄)「ホーレ。チャントム(向)コーデ

タロー(太郎)「ダッテ、ダレカガ、バカニ

タロー(太郎)「ニーサンノユートーリ

スルンダモノ。」

ダネ。」

アニ(兄)「オマエガ、クチ(口)ギタナク

アニ(兄)「サ、マタノボロー。」

ユーカラ、アチラノヒト(人)

タロー(太郎)「ヨーシ、ノボリマシヨ。」

モ、ソーユーノダ。オマエノ

フタリ(二人)ガ、マタヤマ(山)オ

ホー(方)デ、イーコトオイエ

ノボッテイ(行)ク。

バ、ム(向)コーダッテ、イーコト

タロー(太郎)ガチチ(乳)オノ(飲)ム。

オユーサ。」

タロー(太郎)ガネム(眠)ル。

タロー(太郎)「ソーカシラ、イッテミヨ

タロー(太郎)ガオ(起)キル。

カ。」

タロー(太郎)ガナ(泣)ク。

アニ(兄)「イッテゴラン。」

タロー(太郎)ガワラ(笑)ウ。

タロー(太郎)「ゴメンネ。」

タロー(太郎)ガタ(立)ツ。

タロー(太郎)「ボクガワルカッタ。」

タロー(太郎)ガアル(歩)ク。

ッテイル。

二十七

タロー(太郎)ガハシ(走)ル。

ツバメ(燕)ワト(遠)クト(飛)ブ。

タロー(太郎)ガキ(木)ニノボル。

ニッポン(日本)カラ、

タロー(太郎)ガオヨ(泳)グ

ミナミ(南)エト(飛)ブ。

タロー(太郎)ガウタ(歌)オウタ(歌)

ニッポン(日本)エト(飛)ブ。

ウ。

ウミ(海)ワナガ(流)レテイル。

タロー(太郎)ガエ(繪)オカク。

オ(大)キクオ(大)キクナガ(流)レ

ダンダンタロー(太郎)モオ(大)キ

テイル。

クナッテイク。

二十六

ニッポン(日本)ノクニ(國)ワチ(小)

ミナミ(南)カラ

サイ。

ニッポン(日本)エナガ(流)レテク(來)

クニ(國)ワチ(小)サイガ、ニッポン

ル。

(日本)ノネガ(願)イワオ(大)キ。

二十八

セカイ(世界)ノヒト(人)タチオ

ニッポン(日本)ノウミ(海)ニテ(手)

コルフク(幸福)ニシヨートネガ(願)

オヒタス。

コノウミ(海)ガ、
フイリピンノキシ(岸)オアラ(洗)
イ、

ジャワノキシ(岸)オアラ(洗)イ、
スマトラ、マライノキシ(岸)オアラ
(洗)イ、

ト(遠)クゴシユ(濠洲)ノキシ(岸)
オアラ(洗)ウ。

シマ(島)トシマ(島)

クニ(國)トクニ(國)

ウミ(海)デ、ツナガレ、

ウミ(海)デ、ムス(結)バレテイル。

ニッポン(日本)ノウミ(海)ニテ(手)

オヒタス。

二十九

ハル(春)

サングツ(三月)ワヒナマツリ(ヒナ祭)。
シガツ(四月)ワサクラ。
ゴガツ(五月)ワコイ(鯉)ノボリ。

ナツ(夏)

ロクガツ(六月)ワツユ。
シチガツ(七月)ワホシ(星)マツリ。
ハチガツ(八月)ワセミ(蟬)。

アキ(秋)

クガツ(九月)ワオツキミ(月見)。
ジューガツ(十月)ワカリ(雁)。
ジューイチガツ(十一月)ワキク(菊)ノ
ハナ(花)。

フユ(冬)

ジューニガツ(十二月)ワモチ(餅)ツキ。
イチガツ(一月)ワハツヒノデ(初日)ノ
出。

ニガツ(二月)ワウメ(梅)ノハナ(花)。

三十

アナタニワ、オト(ト)サンガ、オアリ
デスネ。

オト(ト)サンノオト(ト)サンワ、オイデ
デスカ。

オト(ト)サンノオト(ト)サンノ、ソノ、
マタオト(ト)サンワ、オイデデスカ。

オイデニワナラナイデシヨ。。
ケレドモ、オイデニナッタハズデス
ネ。

ソノマタ、オト(ト)サンモ、
ソノマタ、オト(ト)サンモ、

タシカニ、オイデニナッタハズデス
ネ。
アナタニワ、オカ(カ)サンガ、オアリ

デスネ。
オカ(カ)サンノオカ(カ)サンワ、オイデ
デスカ。
オカ(カ)サンノオカ(カ)サンノ、ソノマ
タオカ(カ)サンワ、オイデデスカ。
オイデニワ、ナラナイデシヨ。。
ケレドモ、オイデニナッタハズデス
ネ。
ソノマタオカ(カ)サンモ、
ソノマタオカ(カ)サンモ、
タシカニ、オイデニナッタハズデス
ネ。

アナタワ、
ト(遠)イト(遠)イムカシ(昔)エ、
ツナガッテイルワケデス。

フル(古)イキモノ(着物)オイマ(今)
 又(脱)ゴートシテイマス。
 フル(古)ピタ、ヨゴレタ、キモノ(着物)
 オヌ(脱)ゴートシテイマス。
 カラダニアワナクナッタキモノ(着物)
 オヌ(脱)ゴートシテイマス。
 ソーシテ、
 サッパリトシタキモノ(着物)オキ
 (着)ヨートシテイマス。
 ア(明)カルイカン(感)ジノキモノ(着物)デ、
 コーフク(幸福)ノモヨー(模様)ノツ
 イタキモノ(着物)、
 カラダニヨクアッタアタラ(新)シー
 キモノ(着物)。

ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	アイ
キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	ク	ウ	エ
ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ケ	エ	オ
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	コ		
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ			

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
み	あ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
う	み	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
ゑ	え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
を	よ	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

ピ	ギ	リ	ニ	チ	シ	キ	パ	ダ	ザ	ガ
ャ	ャ	ャ	ャ	ャ	ャ	ャ	ピ	ヂ	ジ	ギ
ビ	ギ	リ	ニ	チ	シ	キ	プ	ヅ	ズ	グ
ュ	ユ	ユ	ユ	ユ	ユ	ユ	ベ	デ	ゼ	ゲ
ピ	ギ	リ	ニ	チ	シ	キ	ポ	ド	ゾ	ゴ
ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ				

び	ぎ	り	に	ち	し	き	ば	だ	ざ	が
ゃ	ゃ	ゃ	ゃ	ゃ	ゃ	ゃ	び	ぢ	じ	ぎ
ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ぶ	づ	ず	ぐ
び	ぎ	り	に	ち	し	き	べ	で	ぜ	げ
よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	ぼ	ど	ぞ	ご

セカイ(世界)ワイマ(今)、
 フル(古)イキモノ(着物)オヌ(脱)ゴ
 トシテイマス。
 アタラ(新)シーキモノ(着物)オキ(着)
 ヨートシテイマス。

962

104

製 本 控 號	何 第 號	日 月 年	日 月 年
書 名	著 者	受 入	備 考
962	山本武夫	昭和十八年六月二十五日	

日本のことば (上)
 昭和十八年六月二十日印刷
 昭和十八年六月二十五日發行
 編輯人 山本武夫
 發行人 黒田清
 印刷人 名取洋之助
 印刷所 東京市京橋區木挽町一ノ三
 國際報道株式會社
 東京市麴町區丸ノ内
 二丁目一六 明治生命館
 財團 國際文化振興會
 法人 國際文化振興會
 電話九ノ内(23) 〇九番・一〇番
 三〇番・三三番
 出版文化協會會員番號 第三〇三六番
 東京市神田區淡路町二丁目九
 配給元 日本出版配給株式會社

962
104

終